令和７年度　　日野市立 日野第七小学校　　経営重点計画　　自己評価シート　　令和7年6月公表

★学校の教育目標　◎自ら考え学び続ける子　〇思いやりをもち行動する子　〇心と体の健康をつくる子　〇協働してやりぬく子	★重点計画の概要
★目指す学校像（ビジョン） 【目指す児童像】　〇自ら課題を見つけ、考え、自分の力で学び続ける児童　〇友達や周りの人への思いやりの心をもち、行動する児童 〇運動に親しみ、心身ともに健康・安全に気を付けて生活する児童　〇何事にも挑戦し、みんなで協働して最後までやりぬく児童 【目指す学校像】　一人一人を大切にみんなの笑顔がはじける学校　みんなのウェルビーイング 〇子供たちが毎日笑顔で過ごせる学校　〇教職員がやりがいをもち自己実現できる学校　〇保護者が安心して子供を通わせられる学校　〇地域が協働的につながれる学校 【目指す教師像】　〇すべての児童を大切にし主体的な学びを育む教師　〇保護者・地域とつながり創造的に教育活動を行う教師　〇常に授業改善に努め協働して高め合う教師	「みんなが笑顔」プロジェクト 自分と他者の多様な個性を前提に、子供たち全員の居場所と活躍の場を支える 〇みんなの居場所づくり・・・様々な人との関わりをもとに、豊かな人間性と自己有用感を育む。 〇わかる授業づくり(UDL)・・・自ら課題を見つけ、考え、自分に合った学び方で探究的に深く学べるようにする。 〇相談できる環境づくり・・・誰も置き去りにしないという精神のもと、子供たちにとっての第一の居場所としての学校づくりをする。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準 取組指標	評価指標・評価基準 成果指標
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	【学びの羅針盤・創造】 変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動し、やり抜く力を育む	子供たちが自立した学習者として自ら課題を見つけ、考え、自分に合った多様な学び方で探究的に深く学べるようにする。	①子供が自ら課題をもち、誰もが自立的に学べる学習（探究プロセス・UDL・単元内自由進度学習等）を行う。 ②対話を生かした学習（グループ学習・自学自習・たてわり学習・ICT機器の活用等）を行う。 ③時間と場所を選ばない学習（学習環境整備・学校と家庭の学びの連続性・自学ノート等）を行う。 ④デジタル・シティズンシップ教育や日常的に運動に親しむ機会の創出・コミュニケーションを重視した外国語教育を行う。	４　具体的方策に、教員の９０％以上が取り組んだ。	４　児童アンケートで、児童の９０％以上が肯定的な評価をした。
				３　具体的方策に、教員の８５％以上が取り組んだ。	３　児童アンケートで、児童の８５％以上が肯定的な評価をした。
				２　具体的方策に、教員の８０％以上が取り組んだ。	２　児童アンケートで、児童の８０％以上が肯定的な評価をした。
				１　具体的方策に取り組んだ教員が８０％未満であった。	１　児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が８０％未満であった。
	【教職員の挑戦】 目指す学校像に向け、チームとして挑戦し、成長を実感する	教職員が明るく健康に働き自己実現し、教育の質的向上を図る。	⑤チーム学年・学校を意識して、積極的に協働する。 ⑥プレミアムデーを有効的に活用する。 ⑦ライフ充実デーを取得できるように計画的に働く。 ⑧一か月の超勤が４５時間にならないように意識する。	４　具体的方策に、教員の９０％以上が取り組んだ。	４　児童アンケートで、児童の９０％以上が肯定的な評価をした。
				３　具体的方策に、教員の８５％以上が取り組んだ。	３　児童アンケートで、児童の８５％以上が肯定的な評価をした。
				２　具体的方策に、教員の８０％以上が取り組んだ。	２　児童アンケートで、児童の８０％以上が肯定的な評価をした。
				１　具体的方策に取り組んだ教員が８０％未満であった。	１　児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が８０％未満であった。
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	【インクルージョン】 自分と他者の多様な個性を認め合い、みんなが安心して表現し、失敗を恐れず挑戦する力を育む	様々な人との関わりによって豊かな人間性を育み、思いやりのある行動で一人一人が大切にされ、自己有用感を得られるようにする。	⑨人権教育・道徳教育・学級活動・挨拶や言葉遣いなどの指導を通して、児童の自己有用感を高める。 ⑩たてわり班活動や読み聞かせ、体験活動などを通して、様々な人との関わりによって、児童の人間性を育む。	４　具体的方策に、教員の９０％以上が取り組んだ。	４　児童アンケートで、児童の９０％以上が肯定的な評価をした。
				３　具体的方策に、教員の８５％以上が取り組んだ。	３　児童アンケートで、児童の８５％以上が肯定的な評価をした。
				２　具体的方策に、教員の８０％以上が取り組んだ。	２　児童アンケートで、児童の８０％以上が肯定的な評価をした。
				１　具体的方策に取り組んだ教員が８０％未満であった。	１　児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が８０％未満であった。
	【居場所・活躍】 子供たち全員の居場所と活躍の機会を支える	誰も置き去りにしない精神のもと、子供たちにとって第一の居場所としての学校づくりをする。	⑪いじめや不登校の未然防止・早期発見を常に意識し、学年やいじめ対策委員会、校内支援委員会などの組織的な対応をする。 ⑫学年・ステップ教員・RR教員・SC・SSW等と迅速で綿密な連携をとる。 ⑬学級活動や委員会活動、学校行事等で児童の意見を反映する。 ⑭指導方法の工夫や学級・学校環境の整備などを通して、特別支援教育を意識して取り組む。 ⑮学校全体を学びと心の居住空間にするように心掛ける。 ⑯道徳教育や食育、安全教育を通して、健康で安全な生活の基盤づくりに取り組む。	４　具体的方策に、教員の９０％以上が取り組んだ。	４　児童アンケートで、児童の９０％以上が肯定的な評価をした。
				３　具体的方策に、教員の８５％以上が取り組んだ。	３　児童アンケートで、児童の８５％以上が肯定的な評価をした。
				２　具体的方策に、教員の８０％以上が取り組んだ。	２　児童アンケートで、児童の８０％以上が肯定的な評価をした。
				１　具体的方策に取り組んだ教員が８０％未満であった。	１　児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が８０％未満であった。
社会と未来に開き、みんなでつくる	【対話・協働】 自分たちで考え、語り合い学び合い、対立を乗り越え協働する力を育む	子供たちが地域から学び、地域とともに活動することで、自らすすんで地域社会に関わろうとする態度を育てる。	⑰官公庁や地域商店、企業等と連携し、ゲストティーチャーを生かした授業を行う。 ⑱日野中央公園や野鳥の森公園、黒川清流公園など自然環境をステージにした学習を行う。 ⑲SDGsカレンダーを意識した学習を通して、社会参画意識を醸成する。 ⑳近隣学校（幼保園・大坂上中・日野台高校・実践女子大等）と連携した授業等を行う。	４　具体的方策に、教員の９０％以上が取り組んだ。	４　児童アンケートで、児童の９０％以上が肯定的な評価をした。
				３　具体的方策に、教員の８５％以上が取り組んだ。	３　児童アンケートで、児童の８５％以上が肯定的な評価をした。
				２　具体的方策に、教員の８０％以上が取り組んだ。	２　児童アンケートで、児童の８０％以上が肯定的な評価をした。
				１　具体的方策に取り組んだ教員が８０％未満であった。	１　児童アンケートで、肯定的な評価をした児童が８０％未満であった。
	【多様な参画】 様々な当事者から応援され、多様な人材が活躍する	学校が核となって地域・企業・教育機関とつながり、それぞれが連携して学校教育を支えるスクール・コミュニティを形成する。	㉑学年行事や学校行事等で保護者・地域の方のボランティアを促す。 ㉒保護者会や学校公開、学校行事を通して、地域に教育活動の見える化を図り、双方向な意見交換による「みんなの学校」づくりを推進する。 ㉓コミュニティ・スクール委員会と協力して、学習活動の充実を図る。	４　具体的方策に、教員の９０％以上が取り組んだ。	４　保護者アンケートで、保護者の９０％以上が肯定的な評価をした。
				３　具体的方策に、教員の８５％以上が取り組んだ。	３　保護者アンケートで、保護者の８５％以上が肯定的な評価をした。
				２　具体的方策に、教員の８０％以上が取り組んだ。	２　保護者アンケートで、保護者の８０％以上が肯定的な評価をした。
				１　具体的方策に取り組んだ教員が８０％未満であった。	１　保護者アンケートで、肯定的な評価をした保護者が８０％未満であった。

※評価指標・評価基準は、２の段階を現状としています。